

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】 令和4年6月6日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒 知美	
健福-44	がん検診事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診、肺がん検診(40歳以上)、胃がんリスク検診(40～49歳及び70歳以上)、胃がん内視鏡検診(50～68歳の偶数年齢)、乳がんマンモグラフィ検診(40歳以上の偶数年齢女性)、子宮頸がん検診(20歳以上の偶数年齢女性)、乳房健康指導(20歳～38歳の偶数年齢女性)、前立腺がん検診(50歳以上の男性)を実施した。 ・上記とは別に、20歳女性を対象に子宮頸がん検診、40歳の女性を対象に乳がんマンモグラフィ検診を、市民の自己負担額を無料で実施した。 ・43歳～58歳で過去3年乳がんマンモグラフィ検診を受けていない者に対して、個別の受診勧奨を実施。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業(主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	
01	がん検診事業	各がん検診を対象の年齢の市民に対し実施した。	受診率(%)	- / -	322,350 / 365,483	- / 347,888	
02	がん検診推進事業(無料クーポン券)	20歳及び40歳の女性に対し、がん検診を無料で実施した。	受診率(%)	- / -	878 / 2,344	- / 2,561	
03	乳がんマンモグラフィ集団検診事業	対象の年齢の市民に対し実施した。	集団検診での受診率(受診者数/上限300人)	80.3% / 90%	2,980 / 1,141	90% / 2,956	89.3%
04	口腔がん検診助成事業	新型コロナウイルスに影響により、実施せず。	-	/	150 / 500	/ / 500	
05	一般事務経費	-	-	/	22,843 / 15,321	/ / 14,732	
06				/		/	
07				/		/	
08				/		/	
09				/		/	
10				/		/	
		財源内訳	国県支出金	5,115 / 4,492		82	
			地方債	/			
			その他特定財源	/		1,679	
			一般財源	344,086 / 380,297		366,876	
			事業費の合計(千円)	349,201 / 384,789		368,637	
		人件費(千円)		14,848		30,270	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.1	1.7	3.6			
会計年度任用職員	2.0	1.5	2.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	がん検診事業	国が示す目標である受診率50%を基本として指標を設定。(大腸がん検診、肺がん検診、胃がん検診については40%)R2はコロナによる受診控えがあったため、R3は全体的には上昇傾向にあるが、女性特有のがんについては減少した。	各がん検診の受診機会を確保し、受診を勧奨することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	対象者への再勧奨もある程度行き届いたため、接種率向上に向けた他取組みを検討する必要がある。
02	がん検診推進事業(無料クーポン券)	国が示す目標である受診率50%を基本として指標を設定。これまでがん検診を受けていない人への受診機会確保のために国が実施する事業。女性特有のがんについては減少傾向。	20歳と40歳の女性に、それぞれ子宮頸がん検診及び乳がんマンモグラフィ検診の受診機会を用意することで、がんの早期発見等を啓発し、健康長寿社会の構築に寄与した。	20歳女性を対象とした無料クーポン券検診事業の受診率が低いため、HPVワクチンの個別勧奨時に定期的な検診も重要であることを周知する。
03	乳がんマンモグラフィ集団検診事業	日曜日に実施している検診車による集団検診の受診率を指標として設定。R3は全3回ある集団検診のうち、3回目は予約が満員に達したが、第1回目は6割程度であった。	がん検診を平日以外にも受けられる機会を確保し、受診を勧奨することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	第1回目の集団検診が最も利用者数が少ないため、広報等で周知を図っていく。
04	口腔がん検診助成事業	鎌倉市歯科医師会が実施する集団検診に対する助成であり、稀少がんである口腔がんへの意識啓発を目的に行うものであるため、指標は設定しない。	市民の関心が薄い口腔がんについて普及啓発することで、健康長寿社会の構築に寄与した。	コロナの感染状況を考慮したうえでの実施時期等の検討が必要。
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
令和2年度から胃がん内視鏡検診を開始し、令和3年度には受診率が上昇した。今後も国の動向を注視し、市医師会と連携し令和4年度は対象年齢の幅を広げ、受診率向上のために周知を図っていく。また肺がん検診受診率は国内の受診率動向に準じ受診率が高かった。コロナが収束しない中、検診は受診控えもあることから、受診率向上のために周知を図っていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	大腸がん検診受診率 (受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	26.8	29.1					
	達成率		69.3%					

指標(単位)	肺がん検診受診率 (受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	29.7	32.7					
	達成率		77.9%					

指標(単位)	胃がん内視鏡検診受診率 (受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
受診率向上に努めるため。	目標値		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
	実績値	4.2	5.4					
	達成率		54.0%					

指標(単位)	子宮頸がん検診受診率 (受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	19.4	18.7					
	達成率		44.5%					

指標(単位)	乳がんマンモグラフィ検診受診率 (受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	23.4	22.2					
	達成率		52.4%					

指標(単位)	乳がん集団検診での受診率(受診者数/上限300人)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
集団検診は1回あたり100人が上限で、そのうち受診した人の割合が、本事業の実績として経年で比較しやすいため。	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
	実績値	90.5	80.3					
	達成率		89.3%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段:平成30年度大腸がん検診受診率(令和3年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	9.8%	4.0%	8.6%	6.4%	8.7%	7.0%	6.3%	6.8%
	1位	12位	3位	6位	2位	4位	7位	5位

比較事項	上段:平成30年度肺がん検診受診率(令和3年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	9.8%	6.2%	9.1%	6.9%	8.7%	5.9%	7.0%	6.2%
	1位	6位	2位	5位	3位	8位	4位	7位

比較事項	上段:平成30年度子宮頸がん検診受診率(令和3年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	12.6%	16.0%	17.7%	14.0%	9.7%	11.4%	16.1%	18.9%
	10位	4位	2位	6位	12位	11位	3位	1位

比較事項	上段:平成30年度乳がん検診受診率(令和3年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	16.8%	8.7%	17.2%	11.0%	10.5%	17.0%	11.3%	20.1%
	4位	13位	2位	10位	11位	3位	9位	1位

※1 指定都市、中核市、町村を除く15市中の順位。第2指標(受診者数/市町村住民全体。県ホームページから。)

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比較して各がん検診においての受診率は高い方であるが、目標値には達していないため、今後も受診率向上に向けて周知を図っていく。子宮頸がん検診の受診率が他市に比して低いので、受診率向上を図る。
----------------------	--